

令和7年度 平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会次第

日 時 令和8年（2026年）1月29日（木）

午後1時30分から午後3時まで

場 所 保健センター 2階 健康増進室

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

- | | |
|-------------------------------------|------|
| (1) 平塚市子どもの生活習慣病予防対策事業の内容と経緯について | 資料1 |
| (2) 令和7年度事業計画について | 資料2 |
| (3) 5歳児肥満度調査について | 資料3 |
| (4) 3歳児健診時の肥満対策強化について | 資料4 |
| (5) 巡回教室について | 資料5 |
| (6) 5歳児生活実態調査について | 資料6 |
| (7) 肥満児童（小学4・5・6年生）と痩身児童（小学4年生）について | 資料7 |
| (8) 児童判定部会について | 資料8 |
| (9) 児童健康教室について | 資料9 |
| (10) 令和8年度事業計画（案）について | 資料10 |
| (11) その他 | |

4 閉会

以 上

平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会委員名簿

令和8年1月29日現在

委員氏名	所属団体	備考
猪股 誠司	一般社団法人 平塚市医師会	会長
柴 梓	一般社団法人 平塚市医師会	
有近 一幸	一般社団法人 平塚歯科医師会	副会長
長谷川 和希	平塚市立幼稚園保護者代表	
野村 昌弘	平塚市PTA連絡協議会	
鈴木 理賀	平塚民間保育園連盟	
鈴島 由香里	平塚市立保育園長会	
小澤 清一	平塚市私立幼稚園協会	
原藤 真之	平塚市立幼稚園・こども園園長会	
中野 美紀	平塚市小学校長会	
五十嵐 敦子	平塚市養護教諭研究会	
杉山 泰代	平塚市学校栄養士会	
横田 智美	平塚保健福祉事務所	
位高 駿夫	学識経験者	

任期 自令和7年6月1日 至令和9年5月31日

事務局

健康・こども部		部長	荒井 謙一
健康課		課長	田村 洋介
	母子保健担当	母子保健担当長(課長代理)	樹本 京子
		主管	長田 スミ子
		主査	香川 百合子
		技師	石澤 あかね
		技師	長谷川 李菜
		技師	加藤 知里
		技師	神原 真琴
		技師	岩野 繭菜
	予防担当	課長代理	三浦 真弓
		技師	高橋 映名
学務課		課長	西山 弥生
		学務担当長(課長代理)	千葉 大輔
		主査	堀内 淳史

平塚市子どもの生活習慣病予防対策事業の内容と経緯

		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度～19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度									
小児成人病予防事業 →子どもの生活習慣病予防対策事業へ		医師会、小中学校長、養教、健康課、学務課との情報交換と準備		委員会発足								名称変更 子どもの生活習慣病予防対策事業														書面開催		書面開催		書面開催											
対幼児対策	肥満度調査(毎年)			5歳児肥満度調査開始																												中止									
	判定結果の通知 (委員会→幼稚園,保育所等→保護者)			3歳時点での後方視的調査																												中止									
	すこやか健康相談 →子どもの生活習慣病予防相談 →R6年度より、既存の相談で対応とした			子ども健康教室		すこやか健康相談																								中止		既存の相談で対応									
	幼稚園、保育所等への巡回教室					幼・保各1園開始		希望園を募り開始																				園児:実施 保護者:テキスト配布		中止 テキスト配布		園児:9月 から実施 保護者:テキスト配布		園児:9月 から実施 保護者:テキスト配布		保護者:テキスト配布		保護者:テキスト配布			
	5歳児家庭への生活実態調査(隔年)													部会設置 (17年度まで調査開始)		隔年で実施 休止		休止		休止		休止																			
	3歳児健診時の肥満対策強化																																								
対学童対策	肥満度調査(毎年)			学童(小2,4)		学童(小4のみ)																												参考値							
	受診のすすめ (学校→教育委員会→保護者)							受診のすすめ発行																										やせの件数 自己負担なしへ							
	受診結果判定部会					判定委員会発足																						判定部会へ名称変更		中止		中止		資料送付		資料送付		資料送付		資料送付	
	児童健康教室			健康教室		運動教室、健康教室																								中止											
啓発活動	関係者研修会(隔年)									研修会開始						隔年で実施		休止		シンポジウムとして開催		オンデマンド配信で実施		休止		講義 講義内容をオンデマンド配信		休止		オン・オフラインのハイブリット開催		休止									
	健康課ホームページに「子どもの生活習慣病予防対策」のページを掲載																																					見直し			
	各種啓発用リーフレット配布 (学童用・幼児用・家庭用)					ポスター、チラシ等																														新1年生対象に下敷きやクリアファイルを配布					
	講演会・シンポジウムの開催(随時)			講演会「小児成人病の現状と対策」		講演会「幼児期の食事について」		フォーラム「小児成人病を考える」		講演会「子どもの生活習慣病と食事」																										シンポジウム「肥満の原因と課題」					

平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会
令和7年度 事業計画

資料2

事業名	実施予定	内 容
対策委員会	令和8年 1月29日(木)	各事業についての検討と報告
巡回教室	年間	市内公私立保育所・幼稚園・認定こども園に実施する。
5歳児肥満度調査	5月	市内公私立保育所・幼稚園・認定こども園等の協力により5歳児の身体計測値をもとに肥満度調査を実施する。 * 肥満度15%以上の園児の保護者には結果、相談案内のチラシ、生活習慣病予防資料を配布する。
	7月以降	5歳児肥満度調査において肥満度15%以上の園児を対象に周知し、希望者に保健師・管理栄養士等が個別相談を実施する。
3歳児健診時の肥満対策強化	年間	肥満度15～20%未満の場合は全員栄養相談(生活相談は必要時)に案内する。 肥満度20%以上の場合、医師から説明し、生活相談、栄養相談、乳幼児ケアへの促し、運動の必要性や運動に関するパンフレット等による情報提供をする。
5歳児生活実態調査	6月	市内公私立保育所・幼稚園・認定こども園の協力により5歳児の生活実態調査を実施する。
小学4～6年生へ「受診のおすすめ」発行	6月	小学4～6年生のうち、肥満度30%以上で、校医が受診勧奨の必要性を認めた児童を対象に発行。
児童判定部会	9月～10月	「受診のおすすめ」により受診した児童の検査結果について検証及び判定をする。
児童健康教室	11月～12月	小学4年生のうち、肥満度20%以上の児童を対象にPRし、医師・栄養教諭等による個別相談、運動指導士による運動指導を実施する。
関係職種への研修 (隔年で実施)	令和8年 8月～10月	子どもに関わる機関の関係職種を対象に子どもの生活習慣病及び事業への理解と協力を呼びかける。

令和7年度 5歳児肥満度調査について

1 令和7年度5歳児肥満度調査報告

資料3-1

2 肥満度15%以上の児へのフォローについて

(1) 相談者 3組

(2) フォロー内容

平塚市保健センターにて来所相談を実施。

計測後、生活相談・栄養相談を実施。

3 令和8年度5歳児肥満度調査について

資料3-2

以 上

令和7年度

5歳児肥満度調査報告

(令和7年5月調査実施)

1 対象数

【表1】

令和7年度

(人)

		男子	女子	園児数合計
幼稚園(15)		264	243	507
保育所(37)		417	345	762
認定こども園(9)	1号認定	141	127	268
	2号認定	62	64	126
合計(70)		884	779	1663

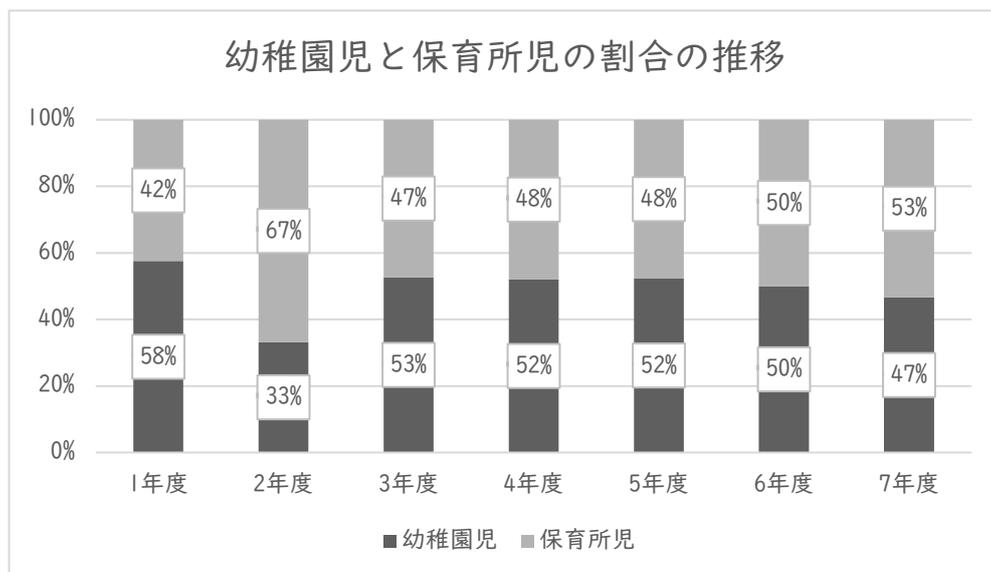
令和6年度

(人)

		男子	女子	園児数合計
幼稚園(16)		281	271	552
保育所(37)		373	376	749
認定こども園(10)	1号認定	171	142	313
	2号認定	50	65	115
合計(61)		875	854	1729

2 幼稚園児と保育所児の割合の推移

【図1】



※令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止により、幼稚園は閉園せざるを得なくなり、園児の身体計測の機会が無くなったため、調査対象数は激減している。

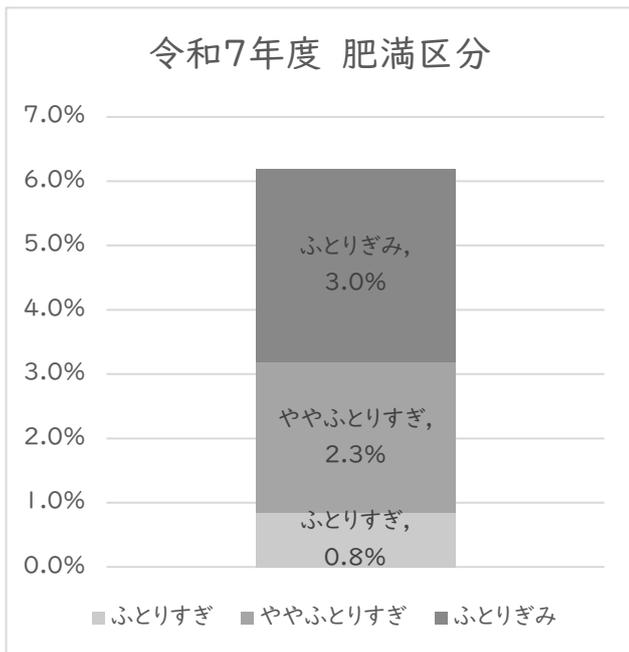
3 集計結果

【表2】令和7年度 幼稚園、保育所の肥満区分毎の人数

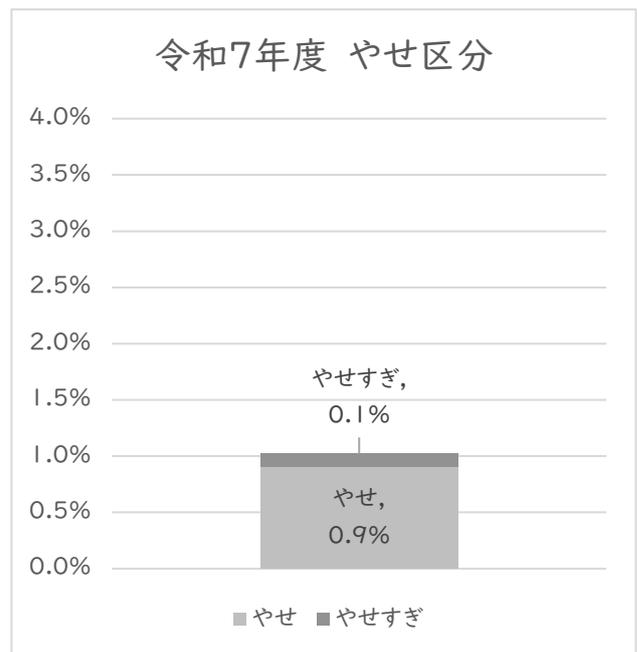
			ふとりすぎ		ややふとりすぎ		ふとりぎみ		やせ		やせすぎ	
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
幼稚園	男子	405	2	0.5%	13	3.2%	13	3.2%	3	0.7%	0	0%
	女子	370	4	1.1%	8	2.2%	8	2.2%	5	1.4%	1	0.3%
	合計	775	6	0.8%	21	2.7%	21	2.7%	8	1.0%	1	0.1%
保育所	男子	479	1	0.2%	9	1.9%	19	4.0%	5	1.0%	0	0%
	女子	409	7	1.7%	9	2.2%	10	2.4%	2	0.5%	1	0.2%
	合計	888	8	0.9%	18	2.0%	29	3.3%	7	0.8%	1	0.1%

本年度の肥満、やせ児を肥満度区分に従って棒グラフに示すと【図3】、【図4】となる。

【図3】



【図4】



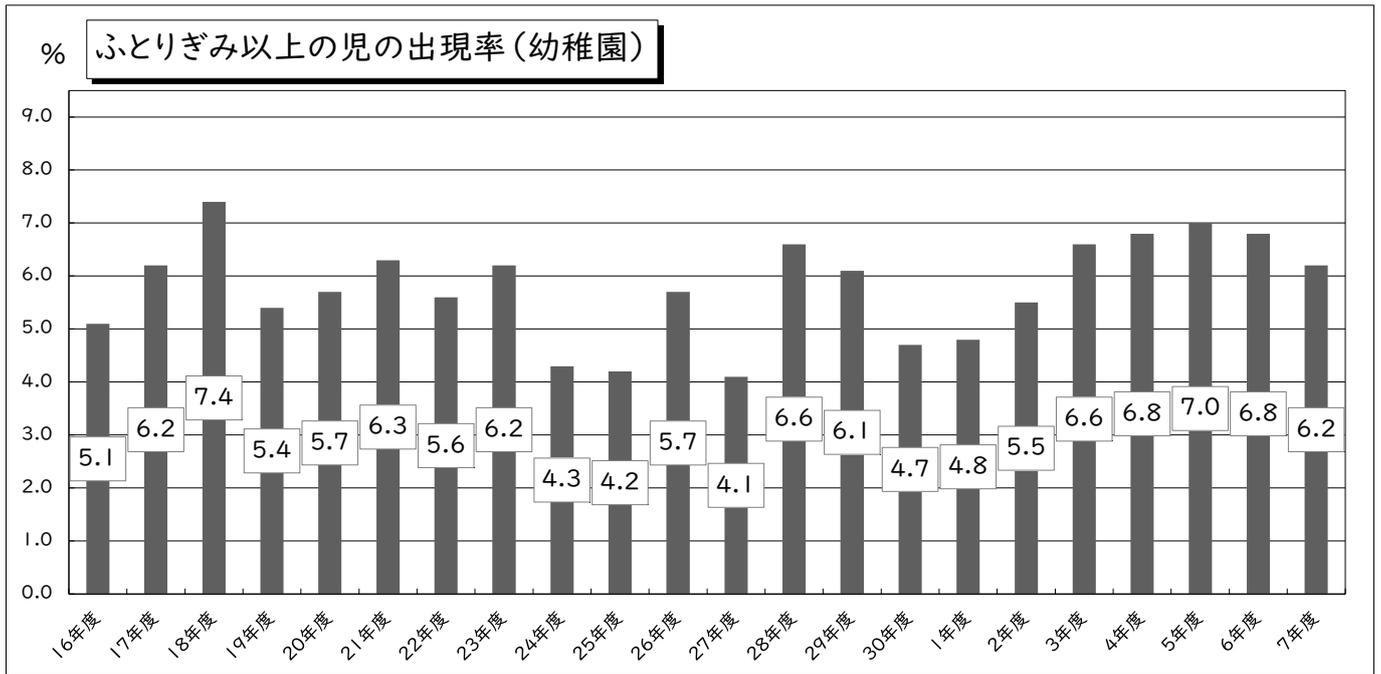
肥満区分が「やせ」もしくは「やせすぎ」に区分された対象者は、約 1%であった。栄養不足や栄養失調が特に疑われる「やせすぎ」は 0.1% (1000 人に 1 人) であり、極めて低い頻度である。やせすぎの該当者 2 人については、把握や丁寧な対応などの取組が求められる。

一方、「ふとりすぎ」「ややふとりすぎ」「ふとりぎみ」に区分された対象者は 6.1%であった。ふとりぎみとややふとりすぎを合わせて 5.3%、ふとりすぎが 0.8%であった。ふとりぎみ以上の児に対するポピュレーションアプローチを継続して実施し、全体的に減少させる施策を継続的に実施しなくてはならない。ふとりすぎの該当者 14 人については、やせすぎ同様に、把握や丁寧な対応などの取組が求められる。

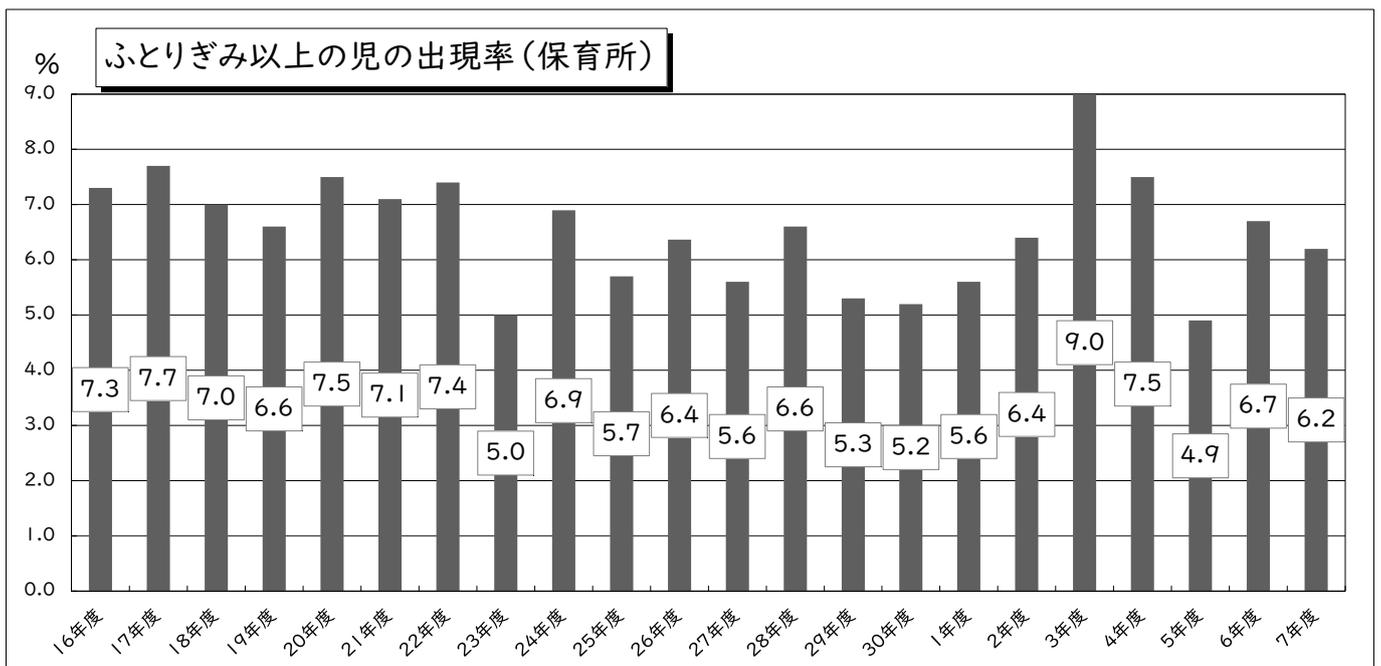
4 肥満度15%以上(ふとりぎみ以上)の出現率

(1) 5歳児肥満出現率の幼稚園児と保育所児の比較

【図5】



【図6】



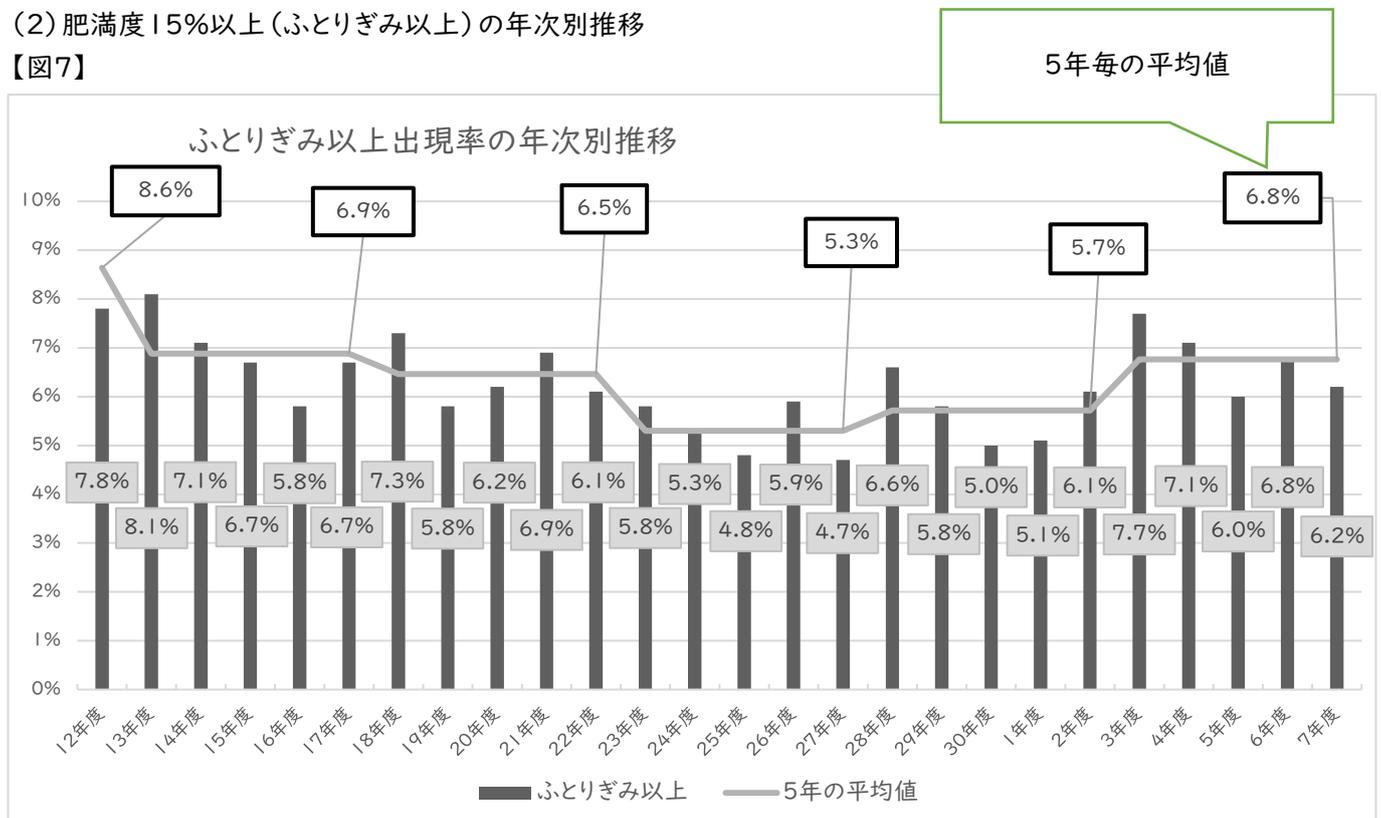
幼稚園におけるふとりぎみ以上の区分の該当者は、平成30年度から令和5年度にかけて増加していたが、この2年は減少傾向を示し、本年度は6.2%となった。一方、保育所においては、平成30年度から令和3年度にかけて増加し、9.0%のピークを示していた。本年度は、幼稚園と同等である6.2%まで減少し、以前の水準までもどった。

平成29～令和1年度を新型コロナウイルス前の水準の参考として検討すると、幼稚園・保育所どちらもおよそ5%ととらえることができるが、本年度と比較して1%弱の増加が確認される。

新たな生活環境となる中で、正しい情報の普及と啓発によって、これ以上増加をさせない取組を継続していく必要があると感じている。

(2) 肥満度15%以上(ふとりぎみ以上)の年次別推移

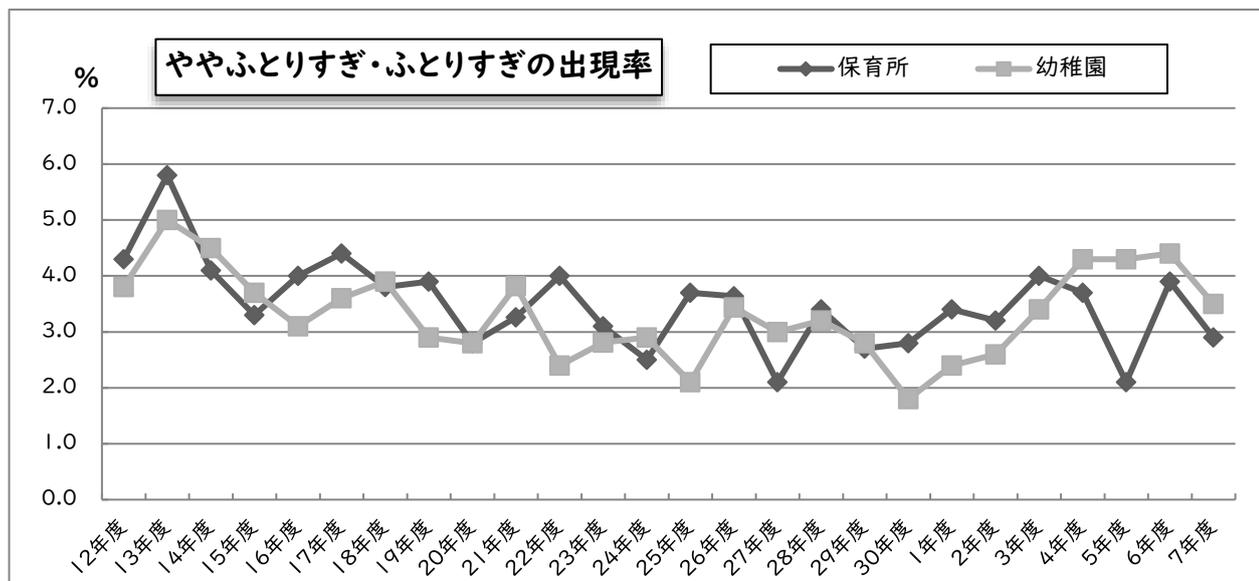
【図7】



5歳児全体のふとりぎみ以上の出現率では、5年ごとの平均値を見た際に、平成30年度からやや増加傾向を示しているが、近年は一旦、落ち着きを見せているように思われる。令和3~4年の高値の期間が次年度からは含まれなくなるため、減少傾向に転じていくことが予測される。今後も単年では6%前半を維持することが求められる。

5 肥満度20%以上(ややふとりすぎ・ふとりすぎ)の出現率

【図8】

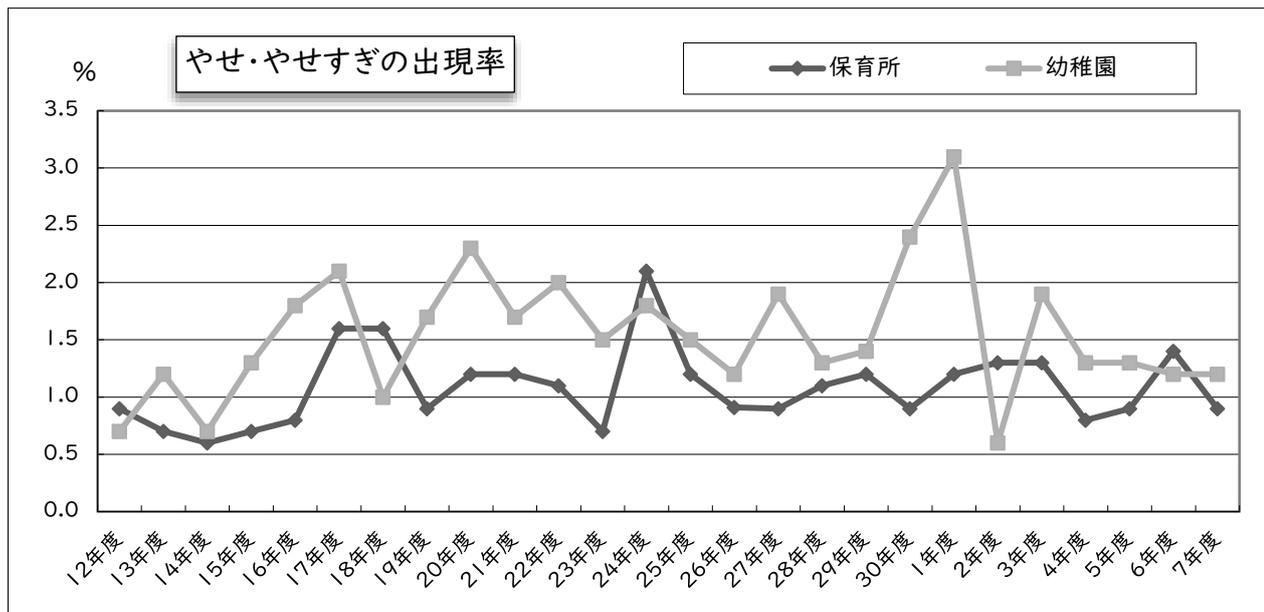


保育園は令和5年度のデータでは、2.1%と低値を示したが、令和6年度では3.9%と高値を示し、令和7年度は2.9%と変動が大きく傾向をつかむことが難しい。令和3年度が4.0%、令和4年度が3.7%であることを考慮すると、わずかながら減少傾向であるかもしれないが、引き続き、観察と対策を続ける必要がある。

一方、幼稚園については、4.3~4.4%と3年連続高値続いていたが、減少した値を得ることができた。次年度以降も継続的に確認し、減少傾向もしくは維持を継続していけるように努めていく必要がある。啓発を強めていく必要があるとともに、毎年継続的な確認が必要不可欠である。

6 やせ・やせすぎの出現率

【図9】



やせ・やせすぎは、調査開始時より1~2%の間で推移しており、この傾向は維持できている。本年度の調査では1663人を対象とした際の17人が該当しており、ハイリスクアプローチとして個別での把握・指導が必要かもしれない。

7 考察

- (1) 幼稚園のふとりぎみ以上は減少傾向に転じ、2年連続の減少となった。また、保育所も4年連続の減少傾向といえる。
- (2) ふとりすぎ・ややふとりすぎも、前年より減少となり、リスク者も減少していると考えられる。
- (3) やせ、やせすぎの人は多くなく、コントロールは良好であると考えられる。

令和8年度 5歳児肥満度調査について

変更点：1回目の肥満度調査で肥満度15%以上だった児の半年後の肥満度を確認する。

目的：肥満度15%以上の児に対し、結果、相談案内のチラシ、生活習慣病予防資料を配布しているが、相談に来所されない児の肥満度の経過が不明である。肥満度15%以上の児の半年後の肥満度を確認することで、子どもの肥満度を保護者が認識することや啓発の効果を把握し、今後の事業運営の参考とする。

内容：1回目の肥満度調査で肥満度15%以上だった児のみ、半年後に身長・体重のデータを所属園から健康課にメールで送付いただく。

スケジュール案：

時期	内容	ご協力いただきたいこと
5月頃	健康課より園へ身長体重データを入力するExcel ファイルをメールにて送付。 ※1、2回目両方のデータが記入できる様式とする。 1回目の身長・体重データ収集。	所属児の身長・体重のデータをExcel ファイルに入力し、健康課にメールで送付。
8月頃	肥満度15%以上の児に、結果、相談案内のチラシ、生活習慣病予防資料を配布。	肥満度15%以上の児の保護者へ、書類を配布。
11月頃	健康課より園にメールにて案内。1回目と同様のExcel ファイルに入力していただく。 2回目の身長・体重データを収集。	肥満度15%以上の児の身長・体重のデータをExcel ファイルに入力し、健康課にメールで送付。
1月頃	子どもの生活習慣病対策委員会で報告。	

3歳児健康診査時の肥満対策強化について

1 取組内容

- (1) 健診会場の待合の部屋に食生活・運動・生活リズムに関するポスターを掲示。
- (2) 肥満度15～20%未満：身長体重曲線のプロットと小児科医師より保護者への肥満状況の説明。
 栄養相談を受けるよう促す。(生活相談は必要時)
- 肥満度20%以上：身長体重曲線のプロットと小児科医師より保護者への肥満状況の説明。
 生活相談、栄養相談、乳幼児ケアを促す。
- (3) 運動や食生活に関するパンフレットを配布し情報提供を行う。

2 健診後のフォロー

肥満度20%以上の場合、3～6か月後の乳幼児ケアを予約し小児科医師による診察、保健師、管理栄養士による健診以降の生活状況の確認と助言、指導を行っている。令和3年度より、運動指導士による運動相談を追加した。

3 3歳児健康診査の結果

【表1】

令和6年度3歳児健診受診者(人)	肥満度15～20%未満の児(人)	割合(%)	肥満度20%以上の児(人)	割合(%)
1,531人	57人	3.7%	22人	1.4%

(1) 肥満度15～20%未満の児

栄養相談を回った人数・・・ 57/57人 100%

栄養相談を回らなかった人数・・・ 0/57人

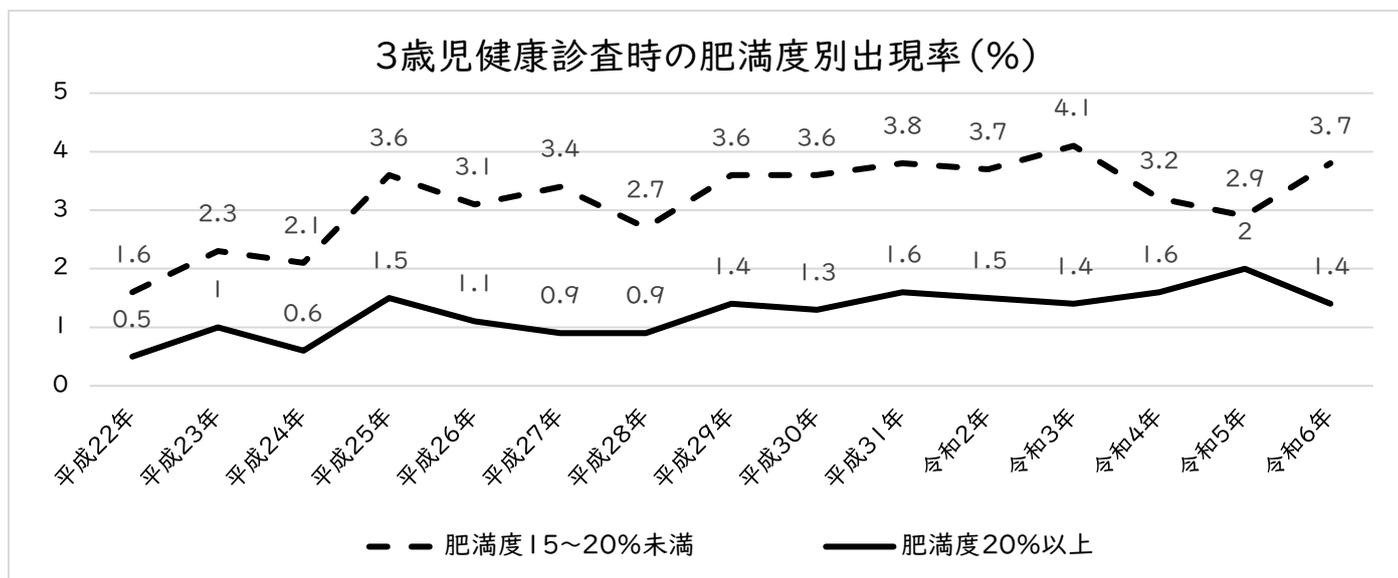
(2) 肥満度20%以上の児

栄養相談、生活相談を回った人数・・・ 22/22人 100%

栄養相談、生活相談を回らなかった数・・・ 0/22人

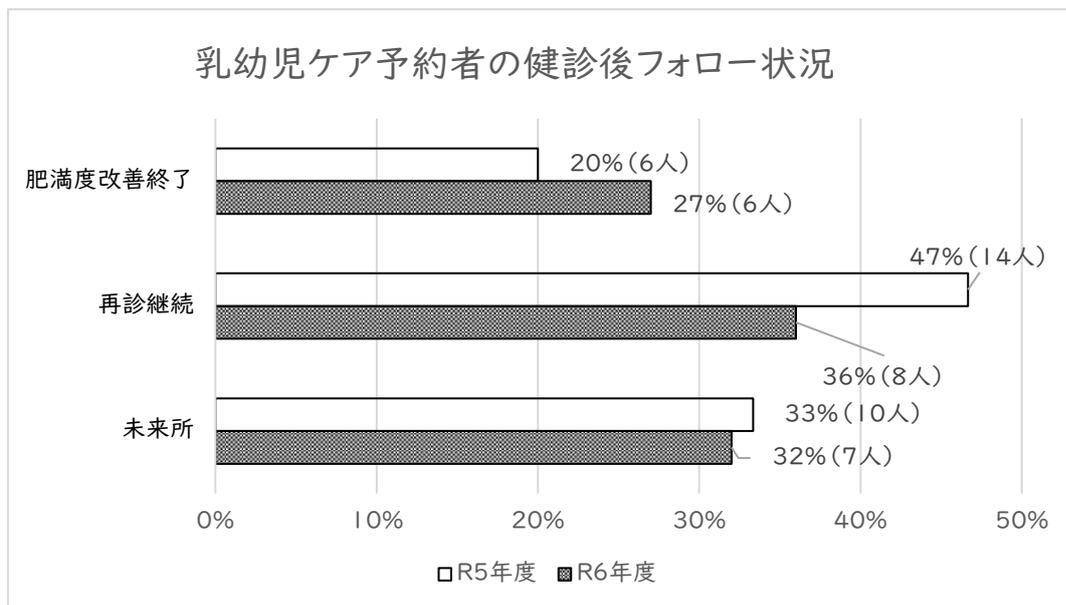
4 年次推移

【図1】



5 肥満度20%以上の児の健診後フォロー

【図2】



※R6年度は転出者1名を含む

<考察および今後の取り組み>

令和6年度3歳児健康診査時に肥満度20%以上の児が乳幼児ケアを予約し、来所された割合は【図2】のとおり、68%であった。また、乳幼児ケアに来所された児のうち、肥満度が改善し終了した児の割合は27%であった。昨年度よりも、改善した児の割合は大きくなっている。

今後も本事業が、5歳児肥満度調査でふとりぎみ以上の児の減少に反映されるよう取り組んでいく必要がある。

令和8年度 3歳児健康診査時の肥満児に対する健診後フォローについて

1 令和7年度までの取り組み内容

3歳児健康診査時に肥満度20%以上の児に対して、乳幼児ケアを案内していた。

乳幼児ケアとは、医師の管理下でない対象児に対して月1回 医師、保健師、管理栄養士が従事し計測後に検診・指導を実施するもの。

2 令和8年度からの取り組み内容の変更点について

令和8年度より育児相談事業にて健診後のフォローを実施していく。

3歳児健康診査実施日の対応として、肥満度15%以上の児に対しては栄養相談を案内し、肥満度20%以上の児に対しては栄養相談・生活相談を案内する取り組みは変わらず実施していく。

変更点として、肥満度20%以上の児に対しては必要時育児相談事業を案内し、フォローを実施していく。育児相談事業では、計測や栄養相談・生活相談を実施したうえで、個人に合った処遇を考えていき、肥満度の改善を目指していくこととする。

令和7年度 巡回教室実施報告

子どもの生活習慣病予防対策事業における巡回教室では、市内保育所、幼稚園、認定こども園に希望を募り、園児を対象に子どもの生活習慣病を予防するための普及啓発に取り組んでいる。

今年度、管理栄養士が希望園に出向き5歳児を対象とした巡回教室を実施した。また、全園へ保護者向けテキストを配布し、子どもの生活習慣や食事についての情報提供と普及啓発を行った。

【巡回教室】

- 1 実施園数 34園（保育所23園、幼稚園6園、認定こども園5園）
- 2 内 容 消化吸収、食べ物の働きについてのエプロンシアター、紙芝居など
- 3 従 事 者 健康課 管理栄養士
- 4 実施内訳

実施日	園名	参加園児（人）	配布テキスト（部）
保育所			
5月12日	八幡保育園	32	30
5月13日	明石町保育園	21	21
5月19日	高村保育園	26	25
5月20日	真土すばる保育園	31	31
5月26日	もんもん保育園	16	16
5月29日	サンキッズ平塚ステーション	20	22
6月6日	吉沢保育園	9	11
6月16日	湘南きらら保育園	22	22
6月17日	大神保育園	13	13
6月25日	愛・八幡保育園	12	12
6月26日	金目保育園	41	45
6月26日	金目おむすび保育園		
7月9日	平塚保育園	20	25
8月27日	サンキッズ湘南	25	26
9月2日	みどり保育所	40	44
9月9日	南原保育園	13	16
9月29日	中原保育園	18	18
10月29日	夕陽ヶ丘保育園	15	20
10月31日	湘南みらい保育園	29	30
11月7日	花水さくら保育園	27	30
11月14日	ゆうかり保育園	22	22
12月11日	サンキッズ金田ほいくえん	22	28
12月17日	しらさぎ保育園	10	13
小計		484	520

実施日	園名	参加園児（人）	配布テキスト（部）
幼稚園			
6月4日	さきとり幼稚園	58	58
6月9日	育英幼稚園	9	9
10月6日	花乃幼稚園	23	23
10月9日	黒部丘幼稚園	19	28
10月30日	東中原幼稚園	62	62
12月10日	松風幼稚園	44	49
小計		215	229
認定こども園			
5月16日	認定こども園道和幼稚園	64	64
6月18日	さなだ幼稚園	35	35
10月22日	大神美里幼稚園	40	44
11月26日	美里柿の実こども園	43	53
12月12日	清水学園付属幼稚園	52	60
小計		234	256
合計		933	1005

【テキストのみ配布】

5 配布園数 25園（保育所13園、幼稚園7園、認定こども園5園）

6 配布内訳

園名	配布テキスト（部）	園名	配布テキスト（部）
保育所		幼稚園	
柳町保育園	18	湘南桜ヶ丘幼稚園	50
しらゆり保育園	12	つるみね幼稚園	26
あさひ保育園	23	なでしこ幼稚園	21
横内保育園	21	白鳥幼稚園	70
いずみ保育園	27	平岡幼稚園	67
大町保育園	15	平塚二葉幼稚園	15
富士見保育園	24	ひばり幼稚園	19
苗・花もんもん保育園	28	小計	268
湘南平塚あゆみ保育園	10	認定こども園	
くまのこ保育園	10	港こども園	32
まなびの森保育園平塚	12	平塚めぐみこども園	30
神田保育園	17	認定こども園大野幼稚園	42
若草保育園	19	認定こども園神田幼稚園	46
		つくし幼稚園	51
小計	236	小計	201
合計		705	